

農作物病害虫発生現況情報（9月） ねぎ編

1 さび病

(1) 9月下旬の巡回調査では、発生圃場率は30.0%（平年27.2%）、被害程度中以上の圃場率は20.0%（平年15.7%）であり、いずれも平年並であった（図1）。

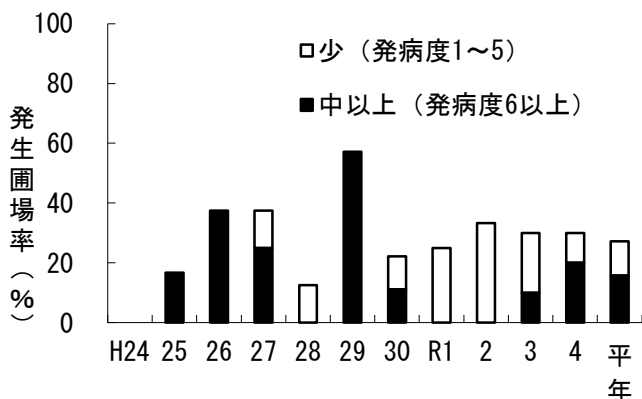


図1 さび病の発生圃場率の年次推移（9月下旬）

2 べと病

(1) 9月下旬の巡回調査では、発生は確認されなかった（平年0%、図省略）。

3 黒斑病・葉枯病

(1) 9月下旬の巡回調査では、発生圃場率は100.0%（平年85.4%）であり、平年より高かった（図2）。

(2) 一部の圃場では、葉枯病の黄色斑紋病斑も確認されている。

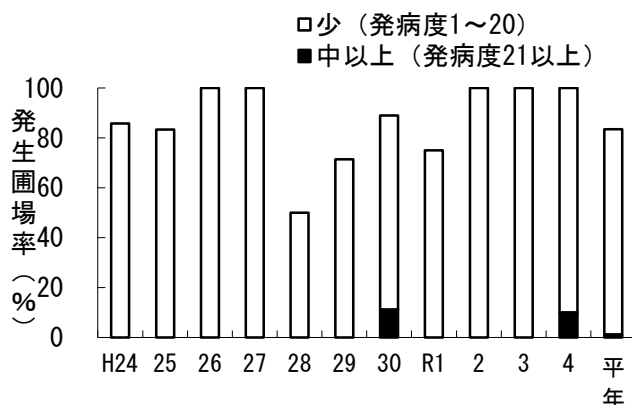


図2 黒斑病・葉枯病の発生圃場率の年次推移（9月下旬）

4 ネギコガ

- (1) 9月下旬の巡回調査では、発生圃場率は40.0%（平年36.3%）で、平年並であった（図3）。
 (2) 時期別の被害葉率は、平年よりも低く推移している（図4）。

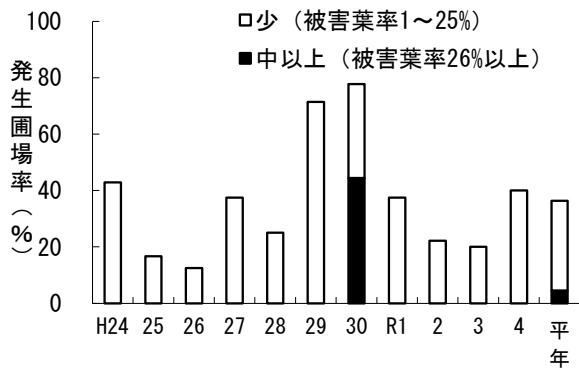


図3 ネギコガの発生圃場率の年次推移 (9月下旬)

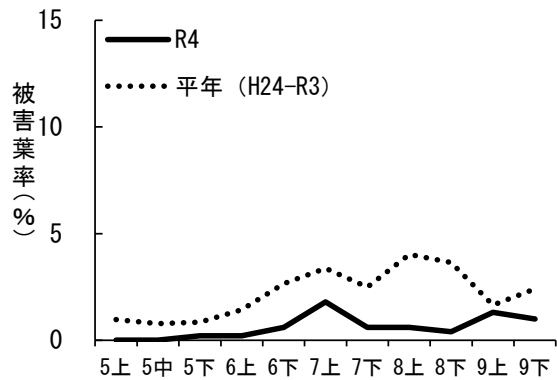


図4 ネギコガ被害葉率の時期別推移

5 ネギハモグリバエ

- (1) 9月下旬の巡回調査では、発生圃場率は50.0%（平年74.7%）で、被害程度中以上の圃場率は10.0%（平年37.4%）で、ともに平年より低かった（図5）。
 (2) 時期別の被害度は、平年よりも低く推移している（図6）。

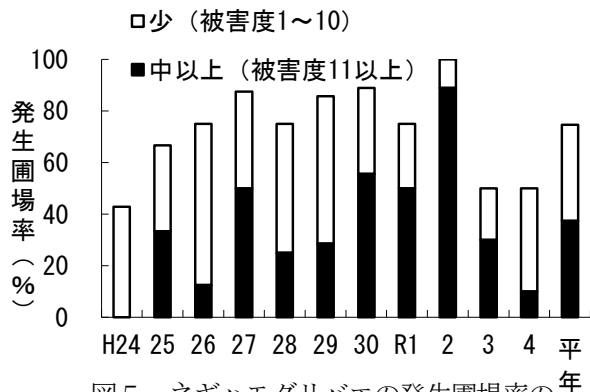


図5 ネギハモグリバエの発生圃場率の年次推移 (9月下旬)

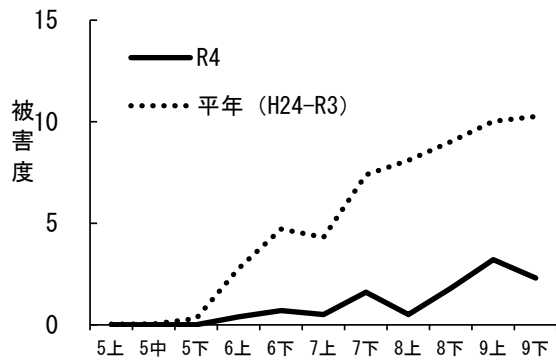


図6 ネギハモグリバエによる被害度の時期別推移

【被害度】調査株の被害程度を甚・多・中・少・無の5段階で評価し、次式により算出

$$\text{被害度} = (4A + 3B + 2C + D) \times 100 / (\text{調査株数} \times 4)$$

 ※A：被害程度甚、B：多、C：中、D：少の株数

6 ネギアザミウマ

- (1) 9月下旬の巡回調査では、発生圃場率は70.0%（平年86.3%）で、程度中以上の圃場率は20.0%（平年50.8%）で、ともに平年より低かった（図7）。
 (2) 時期別の被害度は、9月上旬以降は平年よりも低く推移している（図8）。

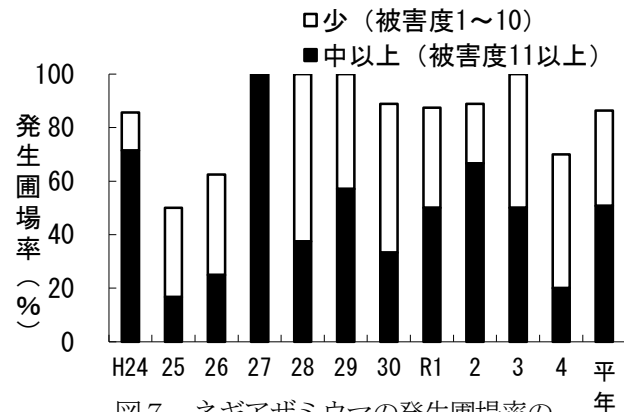


図7 ネギアザミウマの発生圃場率の年次推移 (9月下旬)

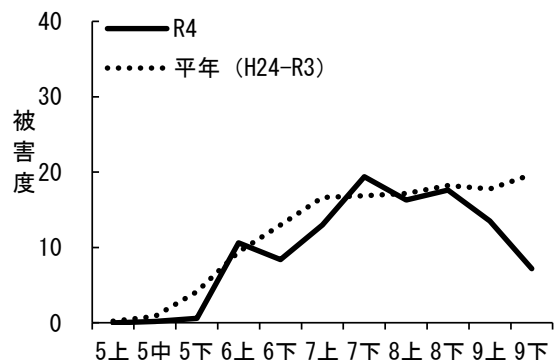


図8 ネギアザミウマによる被害度の時期別推移